

業者婦人の地位向上へ支援を

市政改革委員会で長岡議員

9月24日の市政改革委員会で長岡ゆりこ議員は、業者婦人の地位向上に向けた実態調査や支援策の実施などを求めて質問しました。

長岡氏は、自営業者と

共に働く家族従業者の8割が女性で、大半が夫婦経営だと指摘。ところが女性は取引先との関係や銀行から融資を受ける場

合、申請手続きなど行政

との関係で「下に見られる」など、「女性であるがゆえの不利益」を受け、実態があることを、当事者たちの声も交えて示しました。

市の「企業における女性の活躍推進に関する調査」は小規模事業者からも回答を得ているが、従業員の規模別に問題を把

握する集計結果になって

いないなどの問題点を挙げ、「女性事業主や一人親方、フリーランスの女性、労働者の女性などの声を直接つかむ調査に取り組んでほしい」と提案しました。

さらに長岡氏は、女性事業主への女性差別やハラスメントの対策を要望。コロナ禍で特に女性が就労や生活で苦しい思いをしている中、クレオ大阪女性総合センターにある相談窓口の周知徹底や、行政からの積極的な啓発など「当事者に丁寧に向き合い、対策を強化してほしい」と求めました。



質問する長岡議員＝
9月24日、大阪市議
会市政改革委員会